



株式会社 ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス

東証プライム市場 4433



2023年8月期

決算説明資料

2023年10月13日



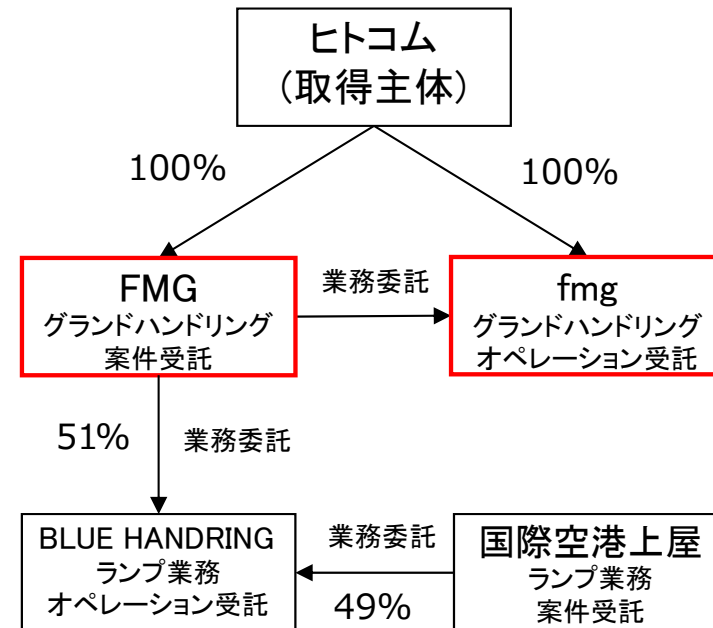
2023年8月期 決算概要



国内・海外ともに需要の急回復する空港及び空港周辺領域において「グランドハンドリング」と「航空機整備」の一括受託に強みをもつ株式会社FMGをグループ化

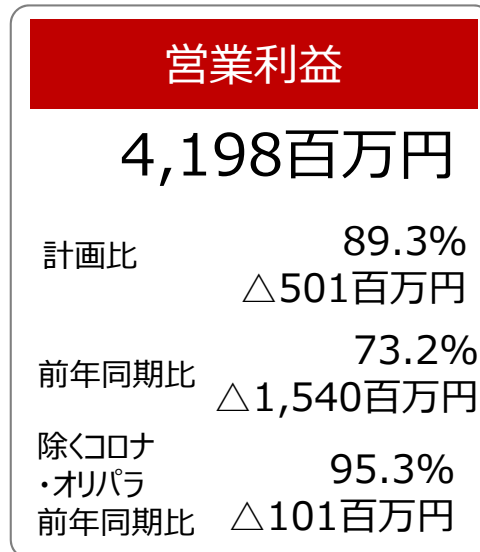
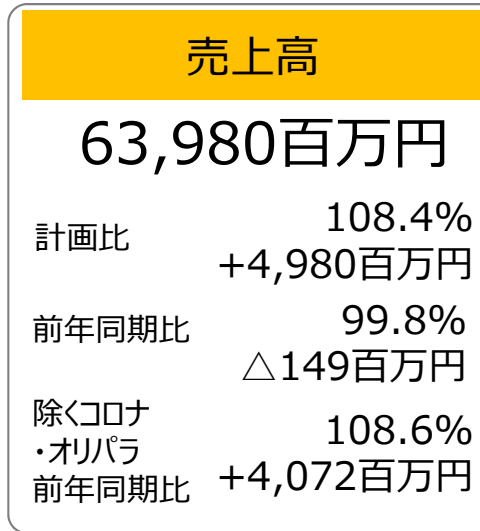
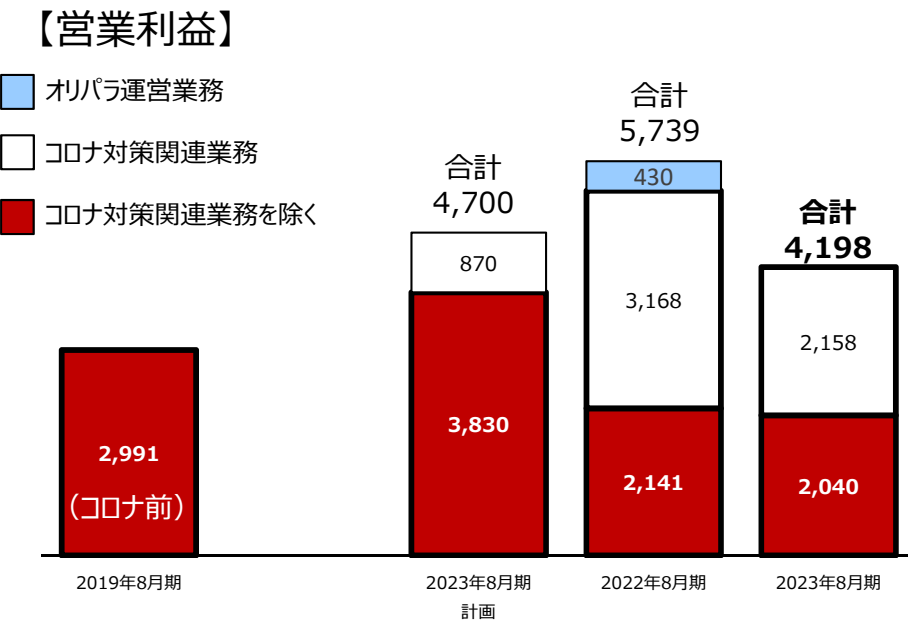
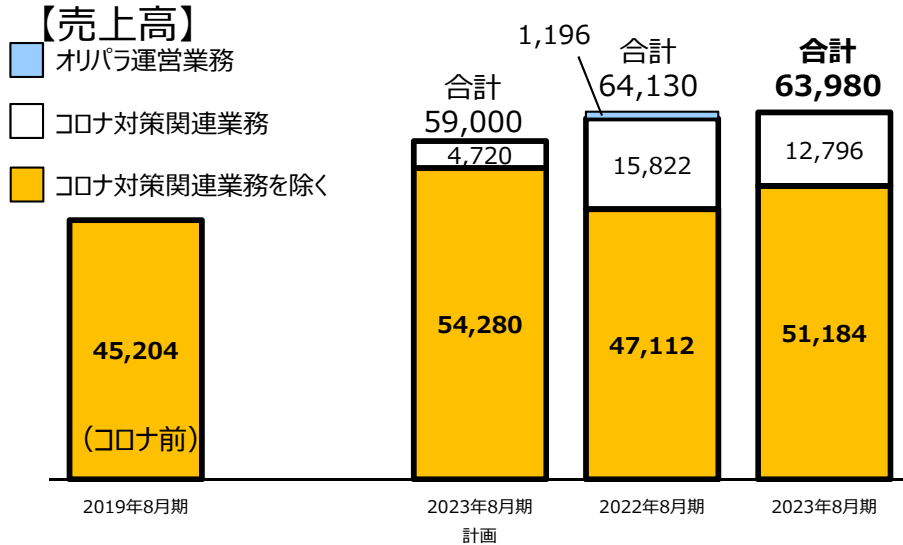
対象会社	株式会社FMG、株式会社fmg
本社所在地	千葉県成田市
事業内容	グランドハンドリング業務 航空機整備業務
設立年月日	1996年8月8日：株式会社FMG
売上高 営業利益	5,824百万円 1,015百万円 いずれも2022年度合算
株式取得金額	75億円※ ※一定の財務指標を達成した場合に 最大100億円となるアーンアウト方式 取得資金：自己資金並びに借入金
株式取得日	2023年7月31日

FMGグループ株式取得のイメージ



- 空港内の保安検査場通過後のいわゆる「制限区域内」における「グランドハンドリング業務」と「航空機整備業務」を一括して、受託出来る数少ない事業者として、7/31FMG社のグループ化を完了。
- 従来ヒトコムグループで手掛けていた「制限区域外」のラウンジ運営、物販、飲食等の業務受託に加えて、FMG社が得意とする「制限区域内」の各種業務受託を合わせ、**空港及び周辺業務を一括受託出来る新たなビジネスモデルの構築を推進する狙い。**
- 連結決算への影響（のれん金額/償却期間等）については、監査法人と協議の上で適切に開示致します。
→**2023年8月期連結決算では、貸借対照表（B/S）のみ取込み。損益計算書（P/L）は2024年8月期より連結開始。**

- **売上高はインバウンド、ホールセール、パブリックが業績を牽引しコロナ対策関連業務の減少をカバーし増収**
- **営業利益は通信・モバイル分野、コロナ対策関連業務の減収が響き減益で着地**



売上高 【前期差異】
【増収要因】

- ◆ 「インバウンド」はアジア・欧米を中心とした訪日外国人増加によるランドオペレーティング業務の急増と、インバウンド回復による空港や商業施設等での業務の急増により増収
- ◆ 「ホールセール」は中国の生産体制の正常化等により商品の販売が好調に推移

【減収要因】

- ◆ 「販売系営業支援」については、通信・モバイル分野で一部業務が縮小し減収
- ◆ 政府や地方公共団体による「コロナ対策関連業務」は需要が一巡し減収に転ずる
- ◆ 「ツーリズム・スポーツ」で前期東京2020オリンピック・パラリンピック関連実績分が減収

営業利益

- ◆ インバウンド、ホールセール、パブリックを中心とした業績回復セクターによる増益
- ◆ 「コロナ対策関連業務」の縮減による減益
- ◆ 前期「オリパ運営業務」終了による減益
- ◆ FMG社M&A関係費用、大型案件受託に向けた協賛費用並びに中期経営計画策定支援等のコンサル費用などの一時的費用の増加（440百万円）

※2022年8月期から「収益認識に関する会計基準」を適用したため、2019年8月期の「売上高」は当会計基準を適用した仮定の数値を用いています。

2023年8月期 損益計算書

	2022年8月期 実績	2023年8月期 計画	2023年8月期		
			実績	前年同期比 (増減額)	計画比 (増減額)
総額売上高	94,832	89,000	93,570	98.7% (△1,262)	105.1% (+4,570)
売上高	64,130 (100.0%)	59,000 (100.0%)	63,980 (100.0%)	99.8% (△149)	108.4% (+4,980)
売上総利益 (粗利率)	15,227 (23.7%)	13,865 (23.5%)	14,238 (22.3%)	93.5% (△989)	102.7% (+373)
販売費及び一般管理費 (販管費率)	9,487 (14.8%)	9,165 (15.5%)	10,039 (15.7%)	105.8% (+551)	109.5% (+874)
営業利益 (営業利益率)	5,739 (9.0%)	4,700 (8.0%)	4,198 (6.5%)	73.2% (△1,540)	89.3% (△501)
経常利益 (経常利益率)	5,759 (9.0%)	4,720 (8.0%)	4,300 (6.7%)	74.7% (△1,458)	91.1% (△419)
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	3,227 (5.0%)	2,650 (4.5%)	1,885 (2.9%)	58.4% (△1,341)	71.1% (△764)

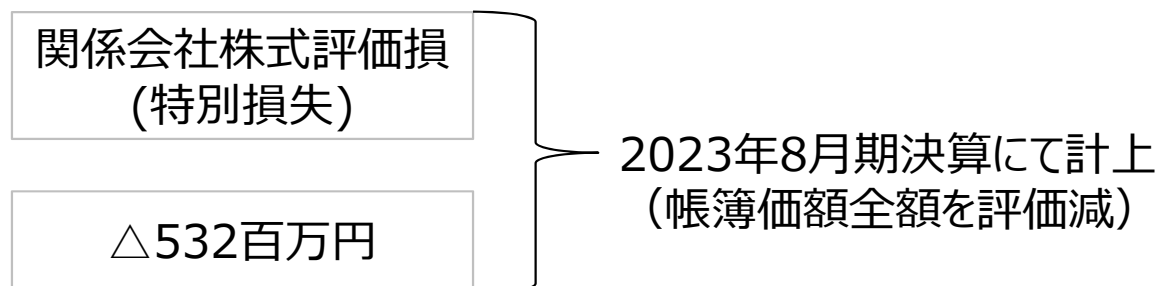
※「総額売上高」は従来の会計基準を適用した仮定の数値を用いています。

EC・TC支援事業の成長に向けた投資として、ライブコマースプラットフォーム事業を展開する株式会社Mofflyを2021年6月にグループ化(非連結子会社)。コロナ禍における「巣ごもり特需」でEC業界が活況となりライブコマース業界に追い風が吹くも、外資系の参入やコロナ明けでアパレル・コスメ業界等同社が得意とするマーケットで実店舗を重視する動きもあり、今後の市場環境の見通しが不透明であり変動要因も大きいことから、関係会社株式評価損の計上を行うもの。

【関係会社株式評価損計上の背景と今後の見通し】

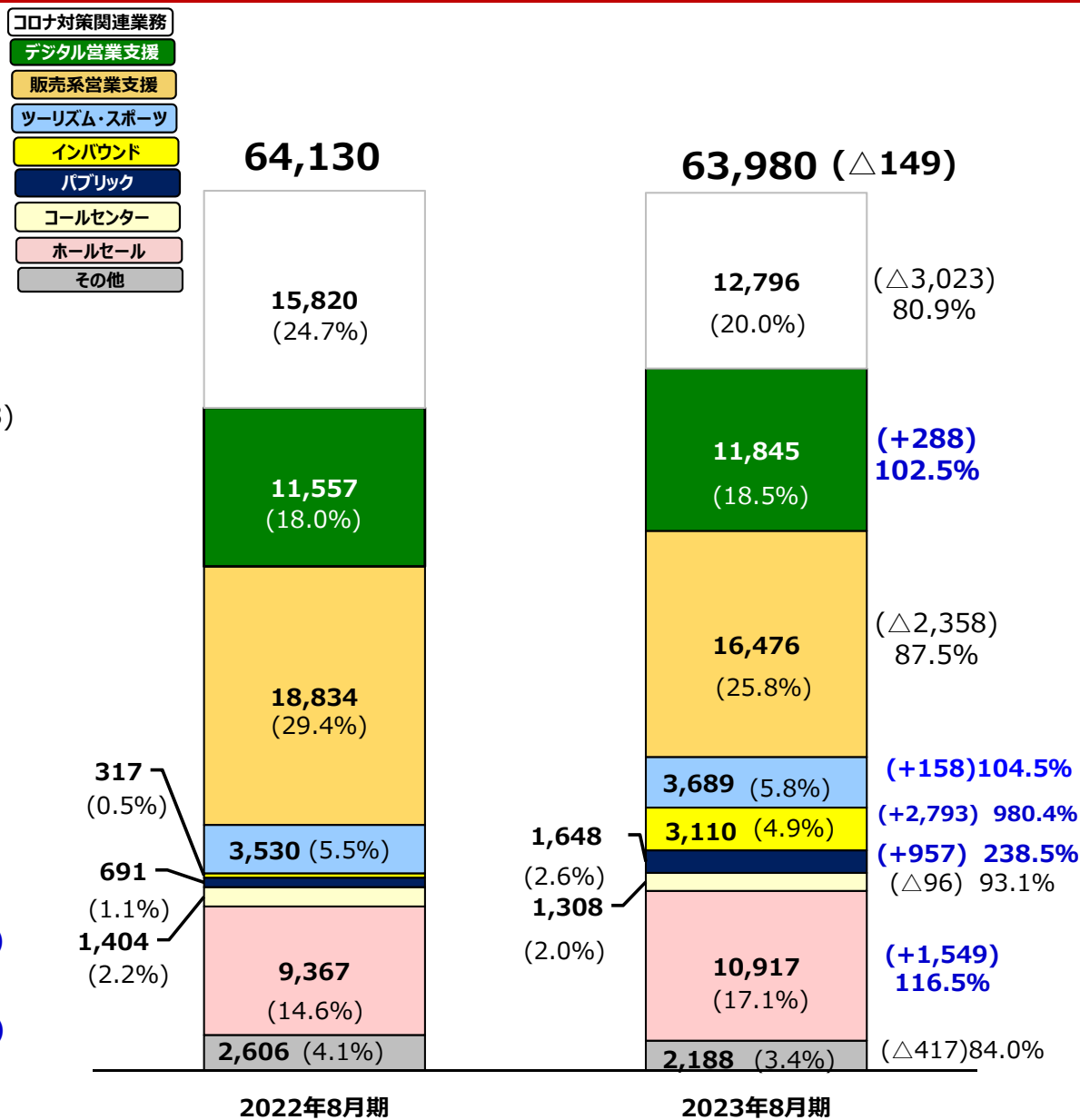
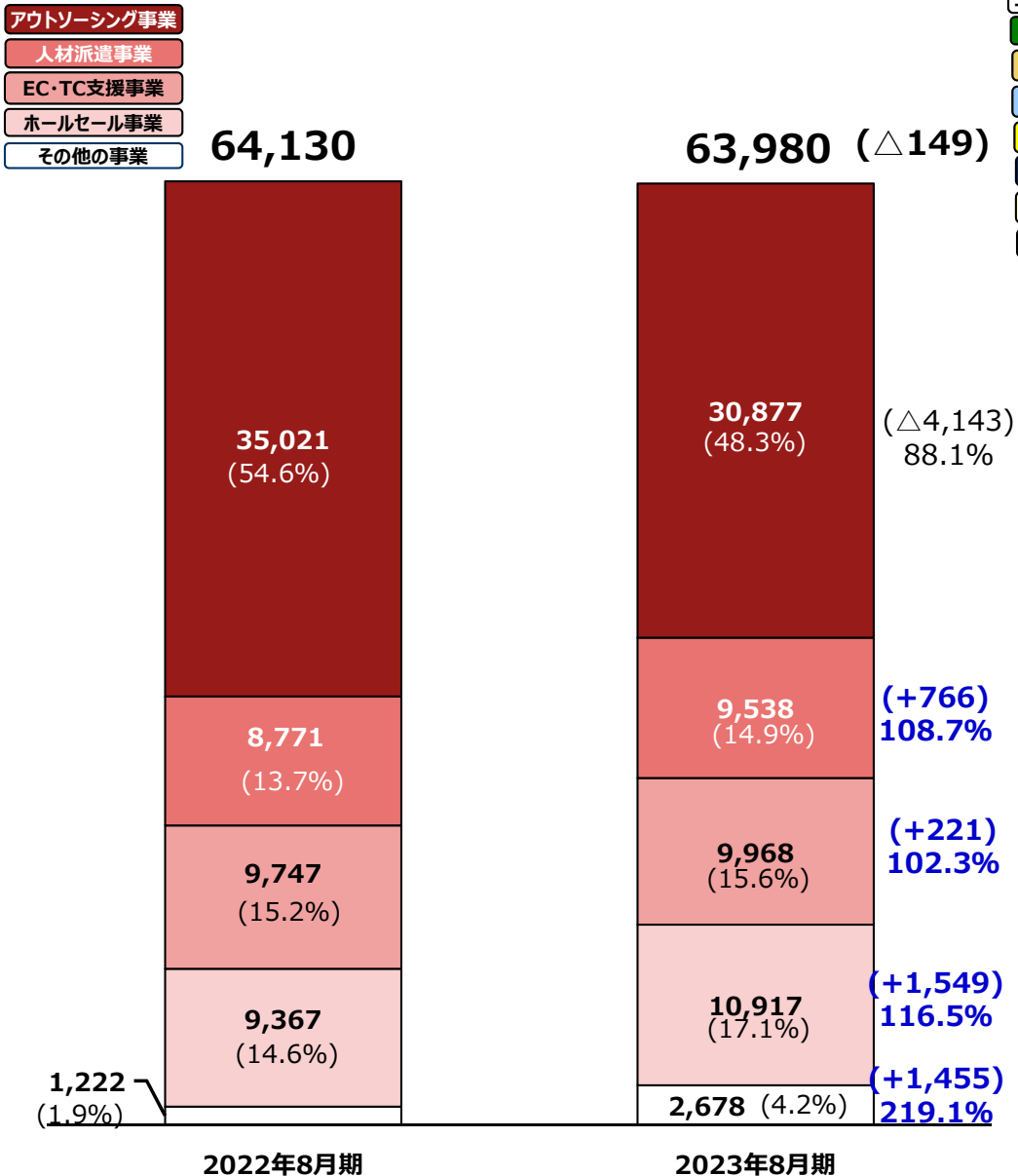
- コロナ禍による「巣ごもり特需」でEC・ライブコマース業界は、新規参入含めて競争が激化。
- ライブコマース業界は外資系プラットフォームメーカー他新規参入も相次ぐがマーケットの成長スピードが上がらず消耗戦の様相が続いている。
- 今回、株式評価損を計上することで、将来の不透明な市場環境変化による想定外の事業リスクを回避。
- 今後のリスクは、事業損益のみに限定。

【会計処理】



2023年8月期 売上高詳細

単位：百万円



セグメント別売上高

セクター別売上高

2023年8月期 貸借対照表



	2022年8月期 期末	2023年8月期末		主な増減要因
			増減額	
流動資産	25,693 (75.1%)	29,048 (68.3%)	+3,354	現金及び預金 +3,031百万円 受取手形、売掛金及び契約資産 +283百万円
固定資産	8,531 (24.9%)	13,505 (31.7%)	+4,973	のれん +4,130百万円 貸倒引当金 +221百万円 投資有価証券 +241百万円 ソフトウェア +125百万円
資産合計	34,225 (100.0%)	42,554 (100.0%)	+8,328	
流動負債	12,584 (36.8%)	13,220 (31.1%)	+636	買掛金 +394百万円 一年内返済予定の長期借入金 +522百万円 未払金 △87百万円
固定負債	3,720 (10.9%)	10,248 (24.1%)	+6,527	長期借入金 +6,218百万円 退職給付に係る負債 +228百万円
負債合計	16,305 (47.6%)	23,468 (55.1%)	+7,163	
純資産合計 (自己資本比率)	17,920 (49.4%)	19,085 (42.0%)	+1,165	利益剰余金 +1,164万円
負債純資産合計	34,225 (100.0%)	42,554 (100.0%)	+8,328	

2023年8月期 キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	2022年8月期	2023年8月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,332	2,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲644	▲5,263
フリー・キャッシュ・フロー	4,688	▲2,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,155	5,703
現金及び現金同等物の増減額	3,552	2,964
現金及び現金同等物の期首残高	9,596	13,149
現金及び現金同等物の期末残高	13,149	16,121

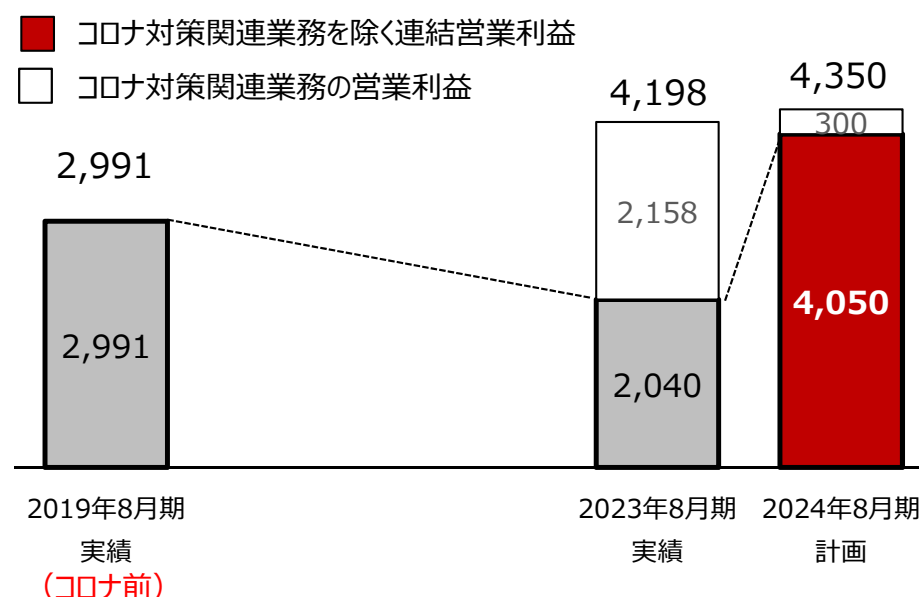
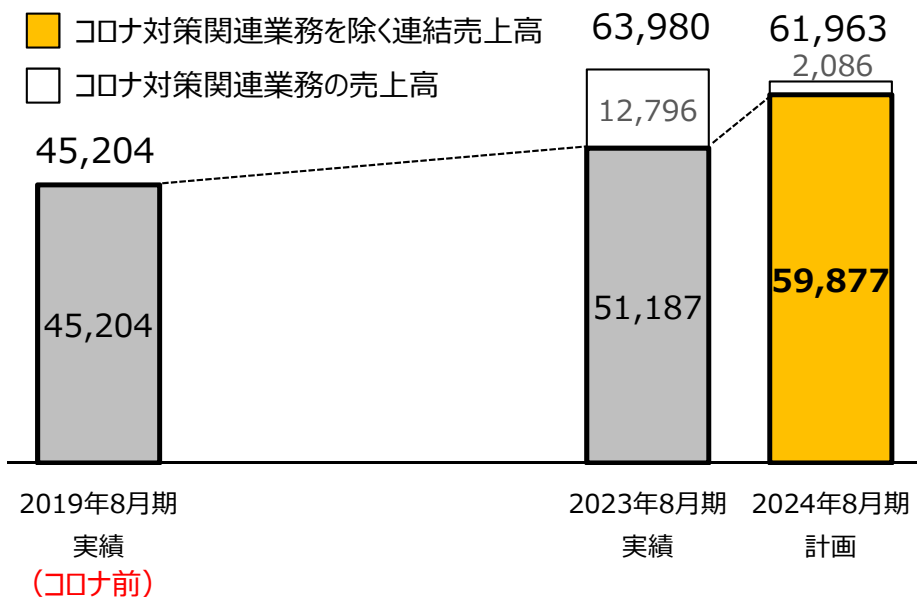
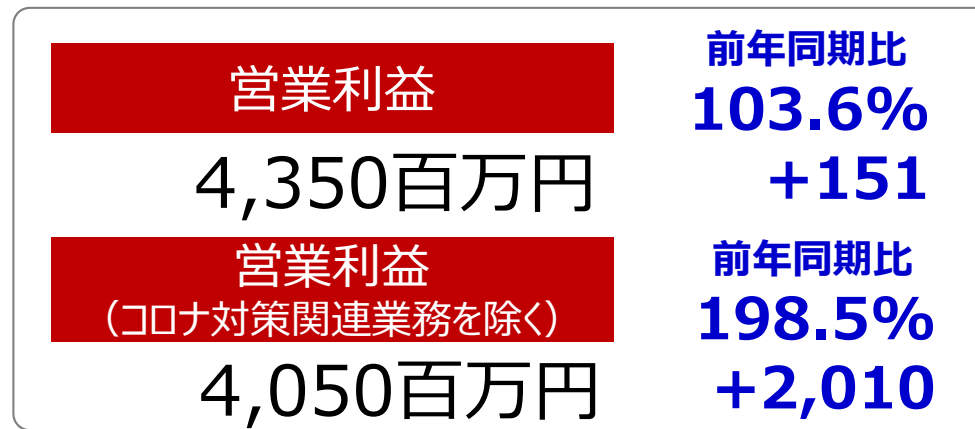
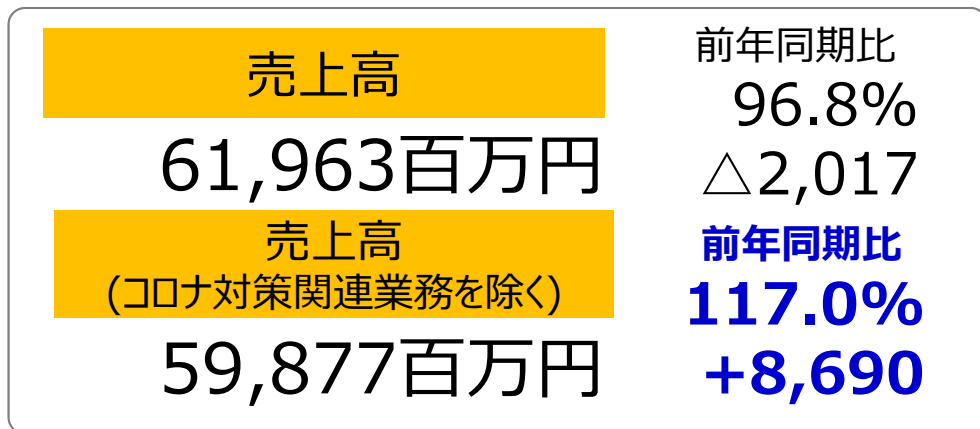


2024年8月期 計画概要

2024年8月期 売上高・営業利益（計画）

- ・売上高：コロナ対策関連業務107億円の減収を計画。これを既存事業で87億円カバー
- ・営業利益：コロナ対策関連業務18.5億円の減益を計画。これを既存事業で20億円カバーし増益を計画

既存事業の力強い回復によりコロナ対策関連業務の決算での影響を今期で払拭



※2022年8月期から「収益認識に関する会計基準」を適用したため、2019年8月期の「売上高」は当会計基準を適用した仮定の数値を用いています。

2024年8月期 損益計算書 (計画)

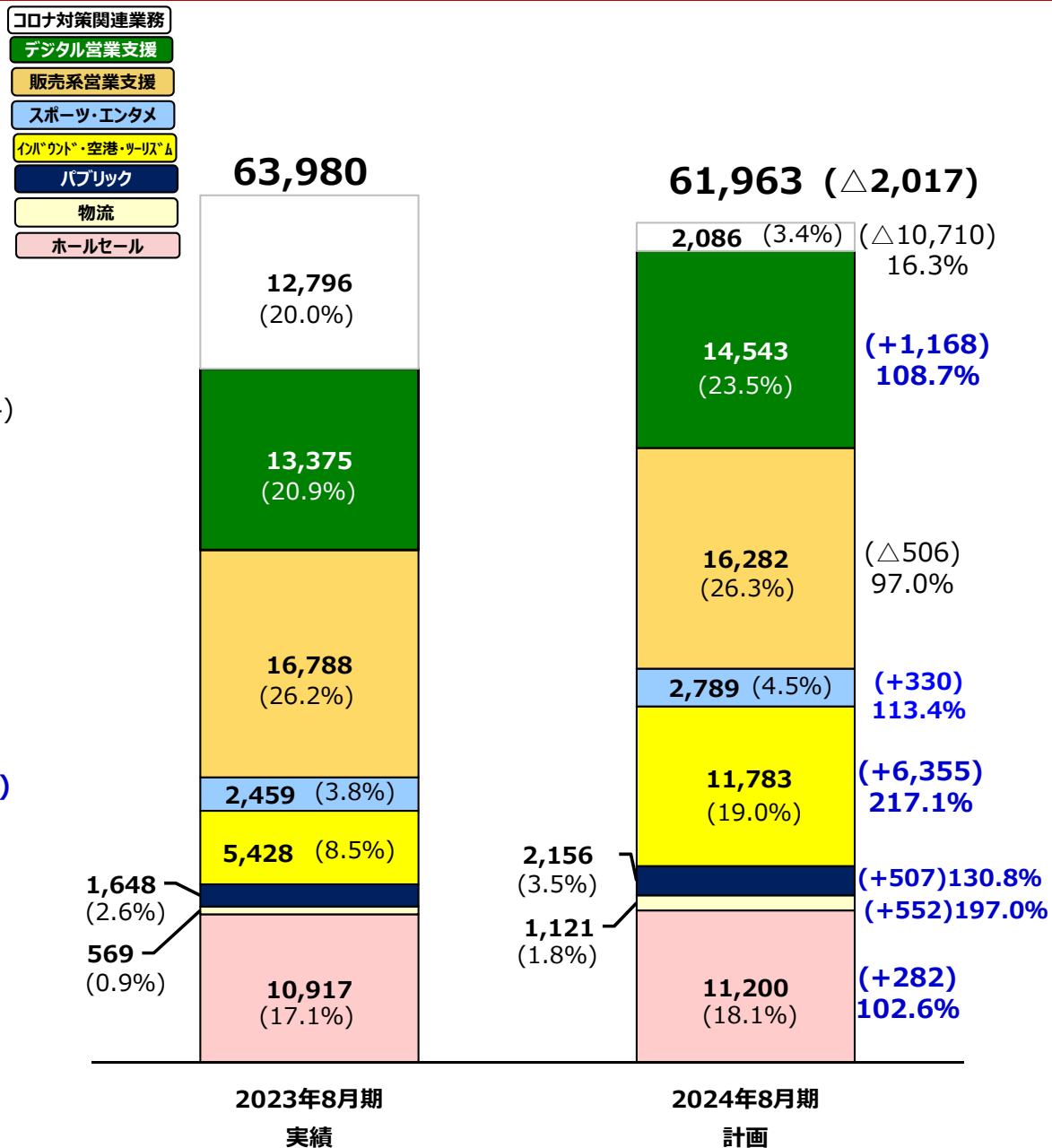
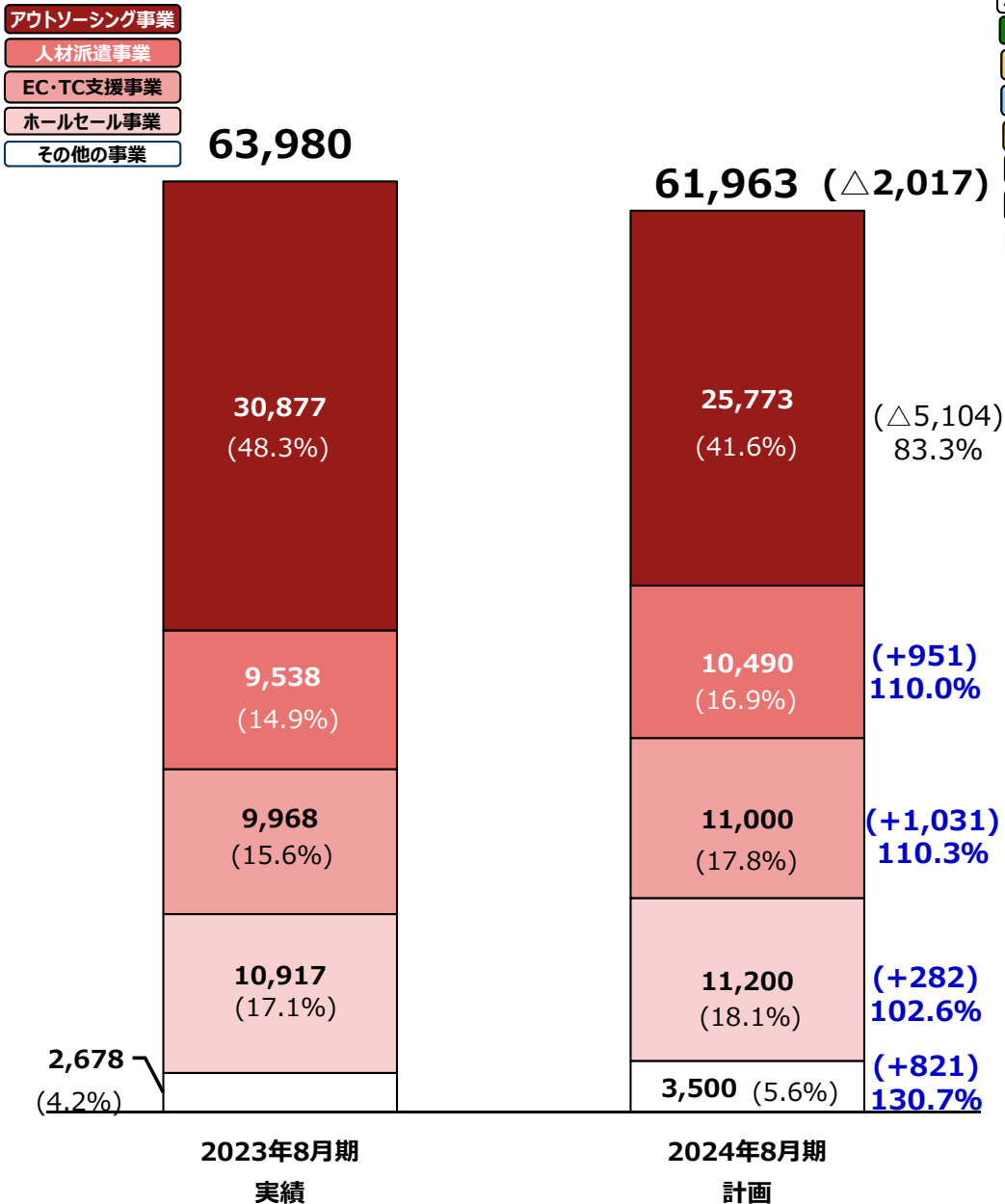


	2023年8月期		2024年8月期	
	実績	前年同期比 (増減額)	計画	前年同期比 (増減額)
総額売上高 (取扱高)	93,570	98.7% (△1,262)	93,869	100.3% (+298)
売上高	63,980 (100.0%)	99.8% (△149)	61,963 (100.0%)	96.8% (△2,017)
売上総利益 (粗利率)	14,238 (22.3%)	93.5% (△989)	14,987 (24.2%)	105.3% (+748)
販売費及び一般管理費 (販管费率)	10,039 (15.7%)	105.8% (+551)	10,637 (17.2%)	105.8% (+597)
営業利益 (営業利益率)	4,198 (6.5%)	73.2% (△1,540)	4,350 (7.0%)	103.6% (+151)
経常利益 (経常利益率)	4,300 (6.7%)	74.7% (△1,458)	4,400 (7.1%)	102.3% (+99)
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	1,885 (2.9%)	58.4% (△1,341)	2,477 (4.0%)	131.3% (+591)

※「総額売上高」は従来の会計基準を適用した仮定の数値を用いています。

2024年8月期 売上高詳細 (計画)

単位：百万円



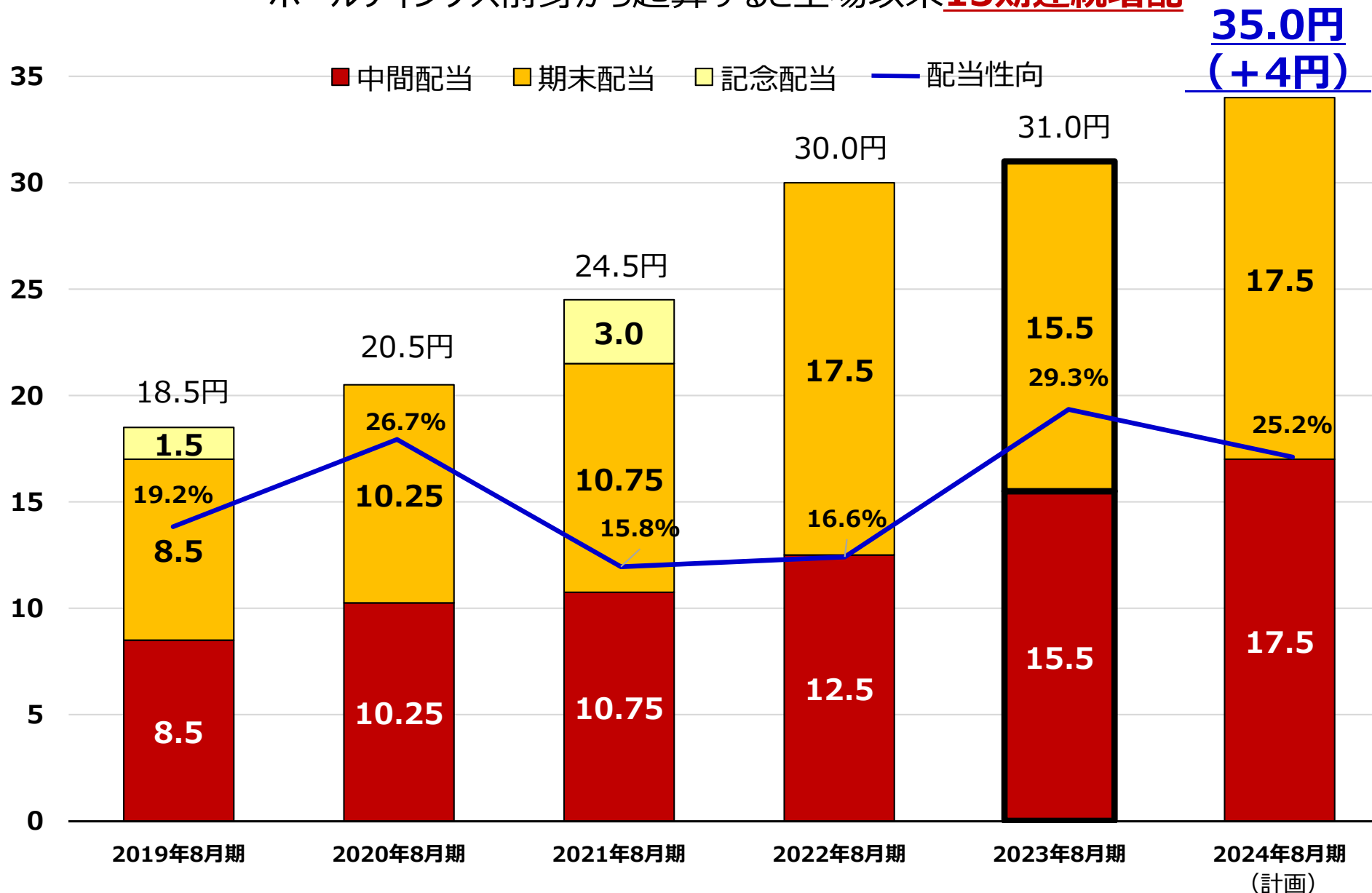
セグメント別売上高

セクター別売上高

5期連続増配の年間35円（4円増配）を予想（配当性向25.2%）

ホールディングス前身から起算すると上場以来**13期連続増配**

(円)



誰ひとり取りこぼしのない「絆」社会の創造と貢献

【 連絡先 】 株式会社ヒト・コミュニケーションズHD 経営企画部 飯島
【 所在地 】 東京都豊島区東池袋1丁目9番6号
【 T E L 】 03-5979-7749

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングスに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。